

論文名：胸部食道癌における術後反回神経麻痺の危険因子と自然経過に関する検討

新潟大学大学院医歯学総合研究科

氏名 佐藤 優

---

食道切除後に認める反回神経麻痺は、頻度の高い術後合併症の一つである。今回耳鼻咽喉科での継続的な喉頭ファイバーでの精査の結果から、胸部食道癌術後反回神経麻痺の発生率とその危険因子、改善率について検討を行った。1993年1月から2012年12月までに胸部食道癌に対し根治的食道切除術を行った299例を対象とした。178例(59.5%)に術後反回神経麻痺を認め、左側麻痺が多かった。反回神経周囲のリンパ節郭清を施行しない経裂孔的食道切除例でも、40例(43.0%)に反回神経麻痺を認めたが、患者背景、腫瘍学的因子、手術手技においてリスク因子は認めなかった。右開胸食道切除・胸腔鏡補助下食道切除術症例では、右反回神経周囲のリンパ節郭清、頸部吻合が、独立した危険因子であった。手術後の反回神経麻痺の改善率は63.6%で、改善までの中央値は6か月(1-18か月)であった。